

【件名】

中東情勢の緊張を受けた注意喚起について（７月２３日）

【ポイント】

- ７月２０日付当館発領事メールのとおり、１９日付で当地米国大使館は米国民に対し、イランがマナマ市内に攻撃を行う可能性を示す情報がある旨述べつつ注意喚起を行っております。
- ７月２１日付の広域情報では、中東地域以外でも米国の外交施設が標的とされてきたことに触れ、世界各地の米国や米国人に関連する施設がイランを支持する勢力との標的とされる可能性があるとして注意喚起をしています。
- また、英国も渡航情報の中で、イラン政府が停戦前に米国権益やイスラエル権益を標的にする旨発言していたとして注意喚起をしています。
- 在留邦人及び当地滞在中の皆様におかれましては、米軍関連施設及び米国・イスラエルに関連する施設等にはできるだけ近づかないようにする等、十分に注意してください。
- また、不測の事態に備え、複数の情報源から最新情報を確認し、ご自身の安全確保に努めてください。情報の入手に当たっては、バーレーン政府発表や信頼のおける報道等の情報源に当たるよう心がけてください。
- 爆発音が聞こえた場合には、
 - 屋外にいる場合 … 近くの建物や地下へ避難、物陰に身を隠す
 - 屋内にいる場合 … 窓から離れる、窓のない部屋に移動するといった行動の徹底をお願いします。